



救急車？病院？迷ったら
奈良県救急相談ダイヤルへ。

●急な病気やけがをしたとき

県救急安心センター

プッシュ回線・携帯電話からは

#7119

24時間受付!

ダイヤル回線・IP電話からは☎0744・20・0119へおかけください。

急な病気やけがをした場合、「救急車を呼んだ方がいいのかな?」「今すぐ病院へ行った方がいいのかな?」「応急手当の仕方がわからない」「近くの医療機関が知りたい」などの救急医療の相談に、相談員や看護師が電話でアドバイスします。

●子どもの急病のとき

子ども救急電話相談

プッシュ回線・携帯電話からは

#8000

ダイヤル回線・IP電話からは☎0742・20・8119へおかけください。

相談日時 平日 18時～翌朝8時
土曜日 13時～翌朝8時
日・祝・12/29～1/3 8時～翌朝8時

対象者 15歳未満の子ども

急な子どもの病気に「どう対応したらいいのか?」「病院の診療を受けた方がいいのか?」などの小児救急の相談に、看護師(必要に応じて小児科医)がアドバイスします。

この電話は、あくまで相談・助言を目的とするものです。症状が重篤な場合は、迷わず119番へ通報してください。

小児救急ガイドブック

子どもが急病になった時、どうすればよいかわかるガイドブックです。

☆下記ホームページからダウンロードできます。
www.pref.nara.jp/secure/42791/h25kodomo.pdf

なら医療情報ネット

ホームページから、「今診てもらえるお医者さん」を探したり、県内の病院・診療所・薬局などが検索できます。

なら医療情報ネット 検索

問 県地域医療連携課 ☎0742-27-8935 FAX 0742-22-2725

知ればその国の人に話したくなる、外国とのゆかりをご紹介します。



奈良墨



なら工芸館に展示されている奈良墨

時代、墨作りの中心地だったと考えられています。

日本に残る墨に関する記録は、日本書紀の「推古天皇の18年(西暦610年)春3月、高麗王、僧曇徴よく紙墨をつくる」という内容の記述が最古のもので、また、現存する日本最古の墨は正倉院に納められている舟形の墨で、表面に「新羅の墨工」の刻印があります。このことから、朝鮮半島から伝わった墨やその製法は、奈良県における墨作りにも大きな影響を与えたと伝えられています。

現在まで発展を続けてきた奈良の墨は、「奈良墨」とも呼ばれ、奈良県の伝統工芸品に指定されています。その良質な墨の全国シェアは95%と言われています。もしかすると、これをお読みの皆さんも、知らないうちに奈良の墨を使っているのかもしれないね。

奈良 韓国

問 県国際観光課 ☎0742-27-8553 FAX 0742-27-1065